



くりしま

《本園の教育目標》

- 元気がある ○自分のことは自分です
- 仲良く遊ぶ ○ものごとに興味・関心をもつ
- 思ったことを話し、人の話を聞く
- 体験や考えに感動する ○工夫して表現する

《栗島幼稚園ホームページ》

栗島幼稚園

検索

『鯉のぼりとこどもの日』

～子どもの成長を願い、お母さんに感謝する～

園長 矢田 泰久

令和3年度の入園式、始業式を無事に終え4月も終わりです。初めのうちはお母さんから離れて、緊張と不安から陰しい表情をしたり泣いたりしていた新入園児たちも、今だいぶ園生活に慣れ、見通しが付き始めてきたのか、表情も緩み笑顔も増えてきました。お友だちとの遊びもだんだんと活発になってきています。

進級した年中組の園児たちは、新しい仲間新しい先生にも慣れ、仲良しさが増し加わっています。日々楽しい交遊がなされています。鯉のぼりの製作では園庭で空高く泳いでいる鯉たちの姿を見て「真鯉は黒い大きい子、お母さんはピンクの子、小さい緋鯉は赤い小さな子」などと言ってはよく観察していました。そして、道具のハサミやのりなどを上手に使い、素敵な鯉のぼりを一人一人が個性的に仕上げました。ぜひおうちで一番目立つ所に飾り鯉として飾っていただきたいです。



<年中組：鯉のぼり製作/園庭給食>



<年少組>



年長組の35名の精鋭たちも、新しい2階教室・お友だち・先生に慣れ、運動や遊び、製作に夢中で取り組んでいます。正課の音楽や自転車もはじまりました。園のきまりを守り、目標をめざして年下の年中・年少組のよきお兄さん、お姉さんとしても大きく成長することを願っています。皆さんよろしくね。



<年中組：ドッジボール>



<年長組：ひまわり組・もも組>

皐月空の下、今年も園庭には鯉のぼりが気持ちよく泳いでいます。鯉のぼりと言うと私はまずこの唱歌を思い出します。『薨（いらか）の波と雲の波 重なる波の中空（なかぞら）を 橋（たちばな）かおる朝風に 高く泳ぐや鯉のぼり…』（1913年、作曲：弘田龍太郎）

また、幼児になじみやすい3拍子のメロディの『屋根より高い鯉のぼり 大きいまごいはお父さん 小さいひごいは子どもたち おもしろそうに泳いでる…』（1931年、作詩：近藤宮子）も思い浮かべます。子どもたちも大きな声で歌っています。

- 1) やねより たかい こいのぼり
おおきい まごいは おとうさん
ちいさい ひごいは こどもたち
おもしろそうに およいでる
- 2) みどりの かぜに さそわれて
ひらひら はためく ふきながし
くるくる まわる かざぐるま
おもしろそうに およいでる
- 3) ごがつの かぜに こいのぼり
めだまを ピカピカ ひからせて
おびれを くるくる おどらせて
あかるい そらを およいでる



<鯉のぼりと年長ストライダー（自転車）>

<カーフがんばれ!>

鯉のぼりのルーツを探ると、中国の故事に「滝をのぼる鯉は龍になる。」（登竜門）ことから、出世を願って真鯉一匹を揚げました。その後、日本に伝わり、江戸時代の武家社会において、端午（たんご）の節句に男児の健やかな成長を願い、庭先に子どもを表す鯉の形を模したのぼり（黒色の真鯉）一匹を揚げたのが始まりのようです。

明治時代以降は、家父長制から緋鯉（ひごい）の二色（父と子）となり、さらに青鯉も加わって家族を表すようになりました。そんなことで、今から90年前の昭和6年に作詞された近藤宮子さんの鯉のぼりの歌詞に「お母さん」の文言がないのでしょうか。

けれども、戦後、時代は変わり赤い鯉をお母さんに見立て、鯉の家族が出来上がりました。続いて家族観の変化も相まって、緋鯉（赤い鯉）は母親、青鯉が子どもと再定義されるようになり、今では、兄弟姉妹を表す鯉として緑やピンク、紫の鯉も現われているようです。

そのようなわけで、鯉のぼりを「端午の節句」（5月5日こどもの日）に揚げ、男児がたくましく成長することを願う日となりました。今では国民の休日に定められ、制定の趣旨は「子どもの成長を祝い、子どもたちの幸福を願うとともに、母に感謝する」とあります。いつも忙しいお母さんを家事や育児から解放する日でもあります。お父さんはじめご家族に皆さんは子どもたちの面倒をみて、お母さんに感謝しましょう。

【5月の主な行事】

- 7日（金） 種まき
- 8日（土） 園庭開放（未就園児対象）中止
※5月22日（土）へ順延
- 11日（火） 年長スイミング①は中止
- 13日（木） 年長園外保育（四季亭見学）
- 18日（火） 歯科診
- 21日（金） 年中園外保育（元渕江公園）
- 25日（火） 年長スイミング
- 27日（木） 内科診

結びに、新型コロナウイルスの感染拡大防止策として5月11日まで3度目の緊急事態宣言が発出されています。園の教育・保育活動にも影響が出ていますが、幸い皆様のご尽力により、園児に感染者がいないことは、素晴らしいことであり感謝です。このまま維持され、影響が最小限にとどまるよう、園では徹底して予防対策に努めてまいります。引き続き保護者の皆様、関係する皆様にはご協力をお願い申し上げます。